



◀首都ヌークの海に面した住宅街。



▲世界遺産のアイスフィヨルド河口付近。



**デンマーク王国 DATA**

人口562万人(≒北海道)、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

当会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度が高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。

LETTER FROM COPENHAGEN  
**コペンハーゲン通信**  
PART IV

# 世界最大の島 グリーンランド



**木下 潤一**

在デンマーク日本大使館一等書記官  
(経済同友会事務局より出向中)

今年の4月に、グリーンランドへ出張する機会を頂きました。今回はその体験も交えながら、同地についてご紹介したいと思います。

グリーンランドは、フェロー諸島と共に、デンマーク王国の自治領です。司法、外交・防衛、為替・金融などの一部の分野を除き、グリーンランドは独立国とほぼ同様の権限を有しています。世界地図にひときわ大きく描かれているグリーンランドは、日本の国土の約6倍に相当する世界最大の島です。島の大部分は氷床に覆われており、氷の厚さは場所によっては3,000mを越し、世界の淡水の約10%がグリーンランドに存在するといわれています。

エビやオヒョウ(カレイの仲間)などの海産物の輸出が主産業となっていますが、現在のところ、自治政府の歳入のうち約35%は、デンマークからの補助金で賄われています。しかし近年、鉱物や石油などの天然資源が豊富に存在することが明らかになりつつあり、グリーンランド内では経済的自立の機運が高まると同時に、海外からも大きな注目を浴びています。しかし、人口はわずか5.7万人弱、気候条件が厳しく、主要インフラも整備されていない厚い氷床に覆われた土地で採掘を行うことは非常に困難で、少なからぬ投資と年数を要すると考えられています。

グリーンランドに降り立ってまず感じたことは、グリーンランド人の顔は私たち日本人の顔によく似ているということです。彼らの多くはイヌイット族で、日本人と同じモンゴロイドに属しています。彼らの黒い髪の毛、顔つきや何気ないしぐさなどを見ていると、親近感が湧いてきます。グリーンランドの空港では、犬ぞりやトレッキングなどの

アクティビティを目的とした海外からの観光客が多い中、場違いのようにスーツを着ていた私は、何度もグリーンランド人スタッフと間違えられ、参ってしまいました。

私が西海岸の中南部に位置するヌークとイルリサットを訪問したのは4月でしたが、町のほとんどはまだ雪に覆われ、気温はマイナス10～15度前後といまだ極寒の世界でした。しかし、ひとたび風がやんで太陽が顔を出せばそこまで寒くは感じません。またこのまちは、地球温暖化の影響が顕著に現れている場所でもあります。イルリサットにある世界自然遺産のアイスフィヨルドは非常に美しく、世界中の観光客を魅了していますが、氷河の溶解により、フィヨルドは過去10年間で10km以上も後退しています。滞在中にお会いしたあるグリーンランド人がこう言っていました。「氷解によりきしむ音は、地下資源が顔をのぞかせる吉兆であるが、気候変動がもたらす厄災を示唆する音でもある」。事実、グリーンランドの主要輸出品のエビの漁獲量は、近年減少に転じており、要因の一つとして気候変動が挙げられています。

以上のとおり、大いなるジレンマを抱えているグリーンランドですが、資源の大きな可能性から、今後も引き続き国際的な脚光を浴び続けていくものと思われます。

今年12月には、東京でグリーンランド・プロモーションが開催され、大々的に歴史・文化・産業などのPRが行われる予定です。



グリーンランド産のシーフード。